

## 特集にあたって

前号に続き南予地域の活性化をテーマに特集を組んだ。

いわゆる「過疎地」の振興においては、地域資源をいかに活用するかが大きなポイントとなるが、多くの場合資源の豊富さに比して、事業化に至ったケースが少ないことが指摘されている。

これを打開するためには、地域資源自体を磨いてビジネスに昇華させる「内発型産業」と、外からの交流人口をビジネスに取り込む「着地型産業」両面からのテコ入れが必要であり、前号で取りあげた「1.5次産業」は前者、本号で取り扱う「団塊世代」は後者のキーワードと目される。

県においても、南予地域活性化特別対策本部の設置をはじめとして各分野にわたり南予振興施策が打ち出されつつあり、民の側では新たな視点からビジネスチャンスを探る動きもみられる。

本号は当センターが最近開催したセミナーや座談会などから、関連するテーマや先導事例を紹介しつつ「南予を元気に」する突破口を探ったもので、同時に広く地域振興に関心ある読者のヒントとなることを願っている。

(編集責任者 丹羽由一)